

鼓阪小学校区説明会での質疑応答、意見等要旨（令和5年1月25日）

	計画について	回答
1	鼓阪小学校に通っている子どもたちの声を拾い上げる機会はあったのか。	客観的に見ると、現在、すでに児童数が少なくなっており、今後も少なくなっていく状況であり、集団でないといけない教育活動もあるため、改善していきたいと考えている。 現時点で子どもたちに直接聞き取りをするような機会は持っていないが、これから施設面や教育面でどのような学校にしていきたいか等、保護者の皆さまからの声も含め、しっかりと聞いていきたい。
2	今後も説明会のような機会が設けられると考えてよいか。予定についても教えてもらえるか。	自治会をはじめ地域の方や、本日のような保護者の方、未就学児の保護者の方を対象にした説明会、佐保地区を対象とした説明会などを実施する中で、説明がまだ不十分な点や今後どうなるのか、新しい学校の校舎、部屋の配置、必要な施設などの協議について、地元の方や保護者の皆さま、子どもたちの声をお聞きしていきたい。具体的な予定は決まっていないが、ご要望やご意見をいただき、協議させていただく機会を積み重ねていこうと考えている。
3	統廃合するかどうかはまだ決まっていないということか。	統廃合について、市としては令和8年度を目途に開校を目指して進めていこうと考えている。
4	予算案を提出したと聞いたが、このタイミングで、統廃合計画の見直しや修正をお願いして、まだ間に合うタイミングはあるのか。	予算案の提出は2月末を予定している。今現在、どのような予算案を上げるかについて議論しているが、令和5年度に佐保小学校の校舎を建て替える設計予算案を奈良市議会に上げていきたいと考えている。
5	保護者や子どもの意見を聞き取り、計画をどう進めていくかという協議の場がまだあると考えてよいか。	現在の学校の状況から、統合再編することにより教育環境を整えていきたいと考え、その方向で進めていきたいと思っているが、色々なご意見をいただきたいと考えている。
6	保護者にはもう説明をしたという既成事実として、今日の説明会を解釈しないということによいか。	説明会を1回開催したから、今回限りで終わりという姿勢ではない。今後、鼓阪地区、佐保地区に住んでおられる住民の方も対象にした説明会を開催する予定もしている。具体的な予定はまだ決まっていないが、機会を設定させていただく。
7	計画が議題に上がり、予算が可決されるまでの具体的なスケジュールを教えてください。	例年2月末から3月頭にかけて開会する奈良市議会3月定例会に予算案を提出し、3月20日前後に議決され、予算が可決されるかどうかが決まる。
8	計画の見直しや検討をお願いするために、具体的にどのような方法でアプローチするとよいか。	このような場でご意見いただいたことを基に検討させていただき、協議の上、よりよい形を示していくことになる。
9	保護者や地域が絶対に反対で、予算案が議会でも否決されたとしても、無理やり計画を押し進めるのか。	議会の方で予算案が否決されれば、スケジュールどおり進まないということになる。保護者や地域の方からの反対のご意見や署名については真摯に受け止めた上で、協議させていただきたい。ただし、学校の児童数は今後も減少傾向が続くので、教育環境を改善するためには計画どおり進めていく必要があると考えている。そのことはご理解いただけるように説明していきたい。
10	学校規模適正化推進計画は以前から出されており、小規模状態は何十年も継続している。なぜ今このタイミングで、統廃合なのか。	計画を策定した6年前の時点では鼓阪小学校の児童数は98人であり、今後大きく減少しないと見ていたが、この6年間の減少は大きく、今後の減少も大きい。現在の未就学児の人数から、令和9年度には1年生7人、2年生8人、3年生7人になると推計しており、統廃合を早期に実施する必要があると考えている。
11	人数が少ないという理由だけで統廃合しなければいけない理由が分からない。校区の見直しをして、もっと鼓阪小学校に子どもが来るような環境を作ってもらいたい。	一定の集団規模での学びを確保し、児童が多様な考え方に触れ、切磋琢磨することにより、思考力や表現力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることができる、教育環境づくりを進めたい。鼓阪小学校に通う子どもが今後もさらに減っていくという状況は明らかであるので、今から統廃合を進めていきたい。
12	鼓阪小学校を魅力的に感じ統廃合への反対の声が大きい中、鼓阪小学校をなくし、危険な通学路で、場所によっては1時間もかかる佐保小学校に通わせる理由が分からない。	
13	去年の7月に聞いた説明から具体的な進展がなく、このやり取りにどれだけの意味があるのか危機感を感じる。	具体的な内容については、今後協議しながら決定していく。
14	3月に議案に上げるのに、1月末に全体説明というのは遅いのではないのか。	今後も説明会を開催し、適切なタイミングで情報提供とご意見を伺う機会を持たせていただく。

	通学について	回答
1	佐保小学校で統廃合する場合、佐保小学校より東、鼓阪小学校より北あたりの子どもたちは危険な通学路を歩くことになる。バス通学の場合は、鼓阪小学校の近くから一度南下して、近鉄奈良駅で乗り換えをした後、北上して佐保小学校へ行くというルートしかない。バス運営会社と協力し、鼓阪地域から佐保小学校まで直通で行けるようなルートを設定するか、カバーできないエリアについてマイクロバス等を走らせるような対応をお願いしたい。そのような計画はあるのか。	スクールバスの運行については、地域の路線バス等の公共交通機関の運行状況や遠距離通学をする児童数等を踏まえ、総合的に判断する必要がある。鼓阪地域から佐保小学校までの間は路線バスが通っている状況にあるので、片道2キロメートルを超える児童が公共交通機関を利用する場合は、遠距離通学費助成制度を利用いただくことになる。現時点で、スクールバスを運行する計画はない。
2	かなり危険度が高い通学路であると認識しているので、距離だけでなく危険性も考慮してスクールバスの運行を積極的に検討していただきたい。	
3	校区が広く、飯守など場所によってはかなり遠方からの通学になる。路線バスの乗り換えも、小学校1年生、2年生には難しい。送迎するにしても保護者の負担が大きいので、やはりスクールバスが必要ではないか、と強く思う。	スクールバスの運行については、路線バス等、地域における公共交通機関の運行状況、遠距離通学する児童生徒の人数等も踏まえ、総合的に判断する必要があると考えている。

	校区について	回答
1	<p>鼓阪小学校と佐保小学校が統合する計画が決まった場合、鼓阪校区の子が佐保小学校に全員行くのではなく、鼓阪北小学校に近い子は鼓阪北小学校に行くなど、校区の見直しというのはあるのか。</p>	<p>校区の見直しについて現時点では考えていないが、実際に統廃合をすれば、通いやすさもあるので、実際に住んでおられる方の意見も聞きながら決めていきたい。ただ、校区が乱雑に入りまじるような環境は良くないので、一定のところで線を引いていくことになる。個別的な話にはなるが、方法としては、校区を編入する、もしくはどちらの学校にも行けるような位置付けにすることは可能であると考えている。</p>
2	<p>佐保小学校の校区内でも、鼓阪小学校の方が近くて通いやすいという声もある。そのような地域の校区を見直すことにより、鼓阪小学校の児童数を増やすといった検討はされたのか。</p>	<p>佐保小学校が開校した100年前に、5、6町が鼓阪小学校区から佐保小学校区に編入されたということは承知している。しかし、そちらに住んでおられるお子さんの数を含めたとしても、該当する児童は20数人にしかならず、鼓阪小学校の小規模状態は変わらない。</p>

	その他	回答
1	<p>学校の裁量次第で、小規模校でも教育環境は整えられるのではないかと。人数が少ないから良い教育ができないというのは、間違っているのではないかと。</p>	<p>小規模だからこそ良い教育が可能な部分もあるが、集団規模が確保されていなければできない学習活動もある。教育を実施するのは学校だが、学校が努力しても、小規模であることによって十分な教育ができない部分はあるので、教育委員会の方で環境を整えていきたい。</p>
2	<p>人数が少ないから鼓阪小学校を統廃合するという説明ばかりだが、教育委員会内でどのようにすれば鼓阪小学校を残せるのかという議論はしたのか。</p>	<p>児童数の減少が令和9年度以降も継続することが明らかな状況であるため、早い段階で統廃合をして集団活動が可能となる環境を作っていきたいという方向性で議論をしていた。</p>
3	<p>鼓阪地区に人を呼び込むことや、他市のように隣の小学校に通えるようにすること、田原小学校のような校区外からの受け入れなどは、検討しているのか。</p>	<p>田原小学校については特認校制度を導入し広報もしているが、現時点で制度を利用しているのは9人しかいない。現状の特認校制度は、学校の集団を維持できるレベルで何十人という子どもたちが通学校を変更するという制度になっていない。自身の校区以外の学校に通うことを選択される方は少ないというのが実情である。</p>
4	<p>この地区に転入を考えている方にとって、学校が統廃合されるということはネガティブな要素になると思う。子どもを増やすのは難しくとも、外から呼び込むことは難しくないとと思うが。</p>	<p>奈良市内では大多数の地域で人口減少が続いている。近隣の木津川市や精華町では人口が流入しているが、一気にその流れを変えることは難しい。奈良市でも流入人口を増やすために施策を打っているが、都市の移り変わりというものもあり、子どもの減少に歯止めをかけ増やしていくことは、実際には難しい。</p>
5	<p>大きな学校にすれば先生方が増え、そういう面では良いということはあるが、鼓阪小学校では、少人数という与えられた状況下でも工夫して良い学びができていますか。</p>	<p>鼓阪小学校の強みである、少人数によるきめ細かな指導については統合再編後の新しい学校でも実施していきたい。</p>
6	<p>国が異次元の少子化対策を実施すると表明しているときに、学校をなくすのはもったいない。学校、地域、市が一体となって鼓阪地区に子どもを増やすことに取り組んでほしい。</p>	<p>奈良市として子育て支援など全市的な取組は実施しているが、鼓阪だけに特化した取組は困難である。跡地活用については現時点で具体的な計画はないが、今後、いずれかのタイミングで関係部署とともに協議させていただきたい。</p>
7	<p>反対意見が多く出ているとのことであれば、議決までの間の話し合い、状況説明が必要ではないか。</p>	<p>ご要望の多い事項について、説明会を開催させていただく予定である。</p>
8	<p>鼓阪地区で子どもを増やすのはかなり難しいと思う。地区の半分近くの方が私立や他の学校に行っている現状を変えるため、鼓阪小学校の良さをアピールすることはできないのか。</p>	<p>少子高齢化は鼓阪だけではなく全国的な問題であり、鼓阪小学校に通う子どもが今後さらに減っていく状況は推計からも明らかである。統廃合を進めることで、教育環境を整えていきたい。</p>